

補正予算特別委員会会議記録

1. 開催日	平成30年6月26日(火)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	大上和則、吉田知代、小島政行、隅田雅春、向井千尋、渡辺拓道、大西基雄、園田依子、足立義則、安井博幸、恒田正美、栗山泰三、木戸貞一、國里修久、前田えり子、河南克典、奥土居帥心、森本富夫
4. 協議事項 議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第2号)	
10. 議事の経過 9:29 開会 大上委員長 挨拶 大上委員長 開議宣告 総務文教分科会座長報告 ■議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第2号) 隅田座長より報告(別添参照)後、質疑応答。 <p style="text-align: center;">＜主な質疑応答等＞</p> 大西委員 町並整備事業に関し、当局から景観に配慮したゴミステーションを5か所に設置する旨の回答があったとの報告があったが、ごみの回収時間についての質疑等があったのか。 隅田座長 ごみの回収時間についての質疑等はなかった。 大西委員 観光客にも配慮し、早い時間帯にごみの回収が必要であると考える。 隅田座長 そのような内容については、所管の委員会でしっかり検討願いたい。	

民生福祉分科会座長報告

■議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第2号）

木戸座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

隅田委員 コミュニティ活動推進費に関し、一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業に本年度採択された団体が、来年度以降も再度申請することは可能か。

木戸座長 そうした質疑はなかったが、採択された団体については、来年度以降、一定の間、申請することはできないと理解している。

隅田委員 例えば5年、10年など、具体的に申請できない期間が定められているのか。

木戸座長 そうした質疑はなかったが、申請の際、実施団体である自治総合センターから、優先順位を付すように依頼されており、市としては、備品の購入という事業の性質上、優先順位を付すのは困難と考えることから、抽選により優先順位を付しているとのことであった。

産業建設分科会座長報告

■議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第2号）

吉田副座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

隅田委員 景観まちづくり刷新モデル事業に関し、市道城東線の歩道整備に合わせ、景観に配慮した樹木等の整備に関する質疑等があったのか。

吉田副座長 そのような質疑等はなかった。

栗山委員 都市計画費に関し、無電柱化の工法についての説明があったのか。

吉田副座長 当局からは、河原町通りと大手通りを電力や通信線を道路に埋設する電線共同溝整備により無電柱化を図る旨の説明があった。

大西委員 地中に埋設する電線共同溝整備により無電柱化を行うとのことであるが、排水に関して問題はないのかといった質疑等があったのか。

吉田副座長 そのような質疑等はなかった。

安井委員 観光客誘致促進事業に関し、駅レンタカーの委託について、当局から市が直営で契約する予定である旨の回答があったとのことである

吉田副座長
安井委員

が、その契約内容について、質疑等はあったのか。
そのような質疑等はなかった。

レンタカーを2台配置すると認識しているが、その駐車場所はJR
所有地となるのか。

吉田副座長

当局からは、配車がスムーズに行えるように駅近くに、2台分のス
ペースを確保したいと考えている旨の回答があった。

安井委員

レンタカーの駐車場所は市が準備するということか。

吉田副座長

市が駐車場所を確保するということである。

議員間討議

大上委員長

討論、表決に入る前に、全体を通して何か意見はないか。疑義があ
る場合、市長に確認しておきたい事項があればあげていただきたい。

－ 意見なし －

大上委員長

意見はないようなので、今回は市長への確認質問はなしとする。

表 決

議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第2号）

－ 討論なし ・ 全員賛成で可決 －

大上委員長

委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

－ 異議なし －

大上委員長

本日の会議記録については、事務局に調整させ、委員長、副委員長
において内容確認を行いたい。これに一任願いたい。

－ 異議なし －

吉田副委員長 挨拶

10:18 閉会